

# 第64回 社会を明るくする運動

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

## 射水更生保護

発行・編集

射水保護司会  
会長 五十嵐 繁久  
TEL 0766-86-0123

〒934-8555

射水市本町2丁目10番30号  
射水市福祉保健部 社会福祉課内



▲ 海王丸と新湊大橋をバックに記念撮影

午後からは第一イン新湊



▲のほり旗を組み立て中

射水保護司会では毎年「海の日」に海王丸パークで「社会を明るくする運動」の街宣活動を行っています。七月二十一日、連休最終日に晴天に恵まれ、会場は朝から多くの人で賑わっていました。保護司と更生保護女性会で、のぼり旗の組み立て・設置、配布物の袋づめをしました。街宣活動には、射水市役所の職員、午後からのミニコンサートにお招きした「ひまわりの譜」の五島つばきさんも参加して下さい、会場内で声掛けをしながら配りました。猛暑と、「少しでも多くの方に更生保護について知っていただきたい」という熱い思いのため、うちわ入りのグッズは大人気で予定時間より早く終了しました。

「社会を明るくする運動」は、今年で六十四回目を迎える全国的な運動です。犯罪や非行をなくし、あやまちからの立ち直りを支えていける地域をつくるためには、一部の人たちだけでなく、地域のすべての人たちがそれぞれの立場で関わっていく必要があります。より多くの方々に参加するきっかけをつくることを目指しています。

### 海王丸パークで街宣活動 ～立ち直りを支えていける地域をつくる～

で「射水市社会を明るくする運動」推進委員会主催で、射水から全国の同運動に広がった歌「ひまわりの譜」を聴くミニコンサートを鑑賞しました。友井賢太郎さん、当会員境文夫保護司の演奏に続いて登場した五島つばきさんの熱唱に拍手を贈りました。



▲ グッズを両手に、行ってきます

#### 『更生保護サポートセンター射水』

〒939-0234 射水市二〇 1081 番地  
射水市役所大門庁舎 車庫棟 2 階  
電話：0766(52)7696  
FAX：0766(52)7697  
E-mail：imizuhogoshikai@gmail.com  
ホームページ URL：hogosi.com  
月曜日から金曜日  
午前9時30分～午後3時30分まで  
企画調整保護司が交代で常駐しています。

### 第六十四回 社会を明るくする運動 射水市推進委員会開催

七月一日から一ヶ月間、全国的で、第六十四回「社会を明るくする運動」が行われます。六月十二日、射水市小杉社会福祉会館で、市内二十三の構成機関及び団体で成る「社会を明るくする運動」推進委員会が開催されました。まず委員長夏野元志射水市長、続いて主唱者、富山保護観察所八木真一所長、次に委員代表として、中川保射水警察署長があいさつされました。

夏野委員長を議長に選任し、平成二十五年年度実施結果の報告、次に平成二十六年年度「社会を明るくする運動」実施要項(案)計画(案)が審議されました。

平成二十五年年度には全体の事件数の約六割を再犯者が占めています。不幸にして犯罪や非行に陥ってしまった人を、どのようにして社会に受け入れてもらえるか、地域社会の中で居場所や働き場所を得るためにはどうしたらいいのか、「社会を明るくする運動」を通して、地域社会の皆さんに更生保護に理解と共感が深まり、非行や犯罪の抑止力に繋がるよう、昨年の実績を踏まえ、全員心も新たに閉会しました。

### 法務大臣・知事メッセージ伝達

第六十四回「社会を明るくする運動」の始まりを告げる、法務大臣、知事メッセージ伝達。五十嵐繁久射水保護司会長が、声高らかにメッセージを読み上げました。



▲ 夏野元志射水市長(右)



▲ 奈田安弘市議会議長(手前右)

### 第三十三回 射水市中学生生活体験発表大会開催



県大会代表に選ばれた  
御後愛良さん  
(小杉南中)

五月二十二日、第三十三回射水市中学生生活体験発表大会が市立小杉南中学校体育館で開催されました。

同校中学校生徒会の司会により、五十嵐繁久射水保護司会長の開会のことば、山崎一佳射水市中学校校長会長の激励のことば、発表上の注意のあと、事前に決められた順に従い、市内六校の代表が、それぞれの体験の中で学び感じた事を発表しました。

厳正な審査が行われ、審査委員長の亀田重幸射水市教育委員会教育次長から、発表者それぞれに講評、続いて審査結果の発表が行なわれました。

県大会市代表には「母からの贈り物」と題して発表した「小杉南中学校(二年)の御後愛良さんが選ばれました。

御後さんは、中学生になって友だち関係に悩み不安な日々を送るなかで、自らの努力で成長した兄の姿に刺激を受け、「人生を棒に振るな」という母の言葉から、自分自身も努力を重ね、やればできる、人は変わることができるという気持ちが生まれ、友達とのコミュニケーションの大切さ、自己変革をポジティブな視点で捉えるなど、非常に積極的な発表だったと評されました。

御後さんは、射水市代表として七月五日ポルファートとやまで開催された第五十二

回富山県中学生生活体験発表大会に出場され、見事富山保護観察所長賞を受賞されました。

#### ◆発表者及び演題(発表順、敬称略)

- 新湊中学校(三年) 二口 鷹 成
- 「僕にとつての地域の先生」
- 射北中学校(三年) 中村 舞
- 「ひいひいばあちゃんの手」
- 新湊南部中学校(三年) 原田 展 佑
- 「これからの福祉社会に求められること」
- 大門中学校(二年) 稲垣 奈 央
- 「困ったときはお互い様
- 〜みんなで支え合つ社会に〜」
- 小杉南中学校(二年) 御後 愛 良
- 「母からの贈り物」
- 小杉中学校(三年) 西井 乃々華
- 「命あることの尊さをかみしめて」



▲ 発表者の皆さん

◆第二回地域処遇会議開催



▲ 講演中の三島氏(右)と坂木氏(左)

平成二十六年六月二十二日、第一回地域処遇会議を開催しました。射水市役所の三島長寿介護課係長と坂木主任をお招きし、「介護保険制度の概要について」と題してご講演いただきました。平成二十一年四月から、法務省は、厚生労働省と連携して高齢あるいは障がい者に対し、かつ、適当な居住地のない者に対する特別な生活環境の調整を開始させ、その仕組みのなかで厚生労働省が、地域生活定着支援センターを予算化する一方、矯正施設、地域生活定着支援センター、更生保護施設等に社会福祉士や福祉関係者の配置が推進され、司法と福祉との多機関連携による支援が行われるようになりました。高齢化が進む中、保護観察や環境調整を担当する上で、保護司が地元の福祉を知るきっかけとなりました。市内五ヶ所に設置され、相談できる場所「地域包括支援センター」の存在も覚えておきたいです。

◆公開研修会

七月一日には、公開研修会を開催しました。富山検察庁高岡支部、松井副検事検察官にお願いし、「検察官の役割と更生保護について」と題して、ご講演いただきました。検察官の仕事内容、警察との違い、裁判における検察官の役割など、時にはユーモアも交えながらのお話に、満席の会場も聞き入りました。市更生保護女性会、高岡保護司会からも多数ご出席下さり、熱気あふれる研修会となりました。



▲ 講演中の松井氏



▲ 熱気あふれる満員の会場

「更生保護サポートセンター射水」だより

「良き出会い」

室田清一

道すがら、小公園や路上清掃の人行き交う人々と交わす「あいさつ」でホットな気分。サポートセンターのポスター「おかえり。」を見ながら爽やかな一日がはじまる。

平成二十四年八月二十一日に、「更生保護サポートセンター射水」が開設された。

困難は、新しいものが生まれる過程とも言われるが、当時、サポートセンター設立の命題を託され、奔走された関係者の熱意が思い出される。

いま、保護司会の居場所たる活動の拠点にて、敷かれたレールを、今後どう生かすか、日々の活動の中で多くの気付きと喜びがある。

昨年(二十五)三月、保護局の御子担当官との意見交換や、本年五月、サポートセンター立案者合田中部委員長との現地訪問で、センターの運営や問題点等に強い関心を示されるなど、賓客の相次ぐ訪問で、中央と地方との心温まる一体感を実感している。

いつまでもなく、更生保護の目的の第一は、保護観察対象者の立ち直りと再犯の防止である。その活動の基本は、主に面接で行うが、傾聴、いわゆる寄り添って聴く心と、心に裏打ちされた人間力でないかと思っている。

本年五月、「本ものに出会わないと本ものにはならない。」との言葉に絆され、「NPO法人心に響く文集・編集局」主催の創設十周年記念行事「人命救助活動シンポジウム」に足を運び、社会のいま、「光と影」を知る機会があった。

その中でも、活動現場からの発表で、

「言葉の持つ力、怖さ、凄さ、嫌う常識です。という言葉」「寄り添う心と心の開き。」「責任のない大切、現地でしか見えないもの。」「良いところ探しと恩送りの勧め」等々、参考になる共感的な一言が心に残っている。

究極のボランティアとも囁かれる保護司の活動支援、地域の更生保護の拠点等の目的で開設された、「サポートセンター」に集い、語り合う中で、特経験者等から、体験「ノウハウ」に学ぶほか、より効果的な活用を模索している。

また、これらを通じ、自身の脳活効果をも期待している。

「…してやったのに」から、「…させていただくの心」、三益三損、多様な価値観や品位ある人徳に触れるたび、そのことを強く感じている。



▲ 前列左から2人目 合田中部更生保護委員長



# 射水市更生保護女性会だより

## ご挨拶

### 射水市更生保護女性会

会長 道古 正子

昨年度は新たな試みとして保護司会のご協力のもとに「射水更生保護女性会だより」を、二回発行することができました。

今後も続けて更生保護女性会の活動の様子をこの広報のもとに皆さんに発信していきたいと思っています。

皆さんもご存じのとおり更生保護女性会は、犯罪や非行をなくし、罪を犯した人たちの立ち直りを支援するボランティア団体です。また「犯罪や非行のない明るい社会」の実現をめざして犯罪予防活動も行っていきます。

私たちは小さなことをしながらも、目的が大きな団体であることを常に心の中で確認し、自分なりの創意と工夫で活動していきましょう。

ある新聞記事にインターネット犯罪が低年齢化して、小学生も標的にされて深みにはまってから気づくことが多く、自分を大切にす道徳教育が必要だと書かれていました。

私は、これを読んで「犯罪予防活動」の一つとして更生保護女性会ですべきことがあるのではないかと強く思いました。

そこで今年度は、四月三十日に開催した総会で、「今子供たちが危ない！ ネットの使い方」と題して泉田正彦先生よりご講演していただきました。講演の内容をもとにしてこれからの活



講演中の泉田正彦氏

動にぜひ、生かしていきたいとみなさん感じていただけたと思います。

また新たに、今年度の活動が始まりました。人と人とのふれあいが希薄になる一方で、自分のことで精いっぱいな時代に他人を思いやれるって素晴らしいと思いませんか！

「寄り添っていますか」「つながっていませんか」とお互いに呼びかけながら心をつなげて今年度もまた活動していきましょう。

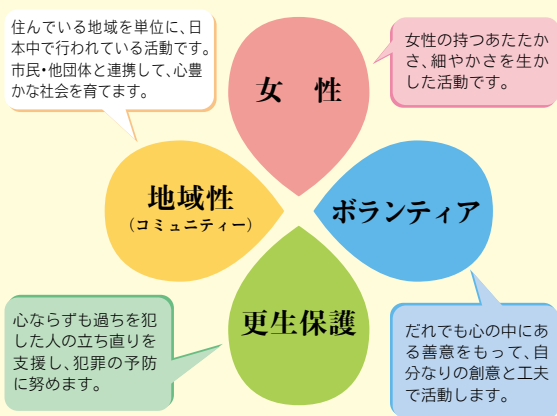
皆様方のご協力とご支援を深く感謝申し上げますと共に、これからも活動の充実に向けてまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

## ●更生保護女性会とは

犯罪や非行のない明るい地域社会の実現に寄与することを目的として、地域の犯罪予防と犯罪をした人や非行のある少年の更生支援活動を行うボランティア団体です。全国に千三百の地区会があり、約十八万五千人の会員が活躍しています。

## ●更生保護女性会のなりたち

更生保護女性会のルーツは、明治十六年に大阪のひとりの女性が、行くあてのない子供たちを自宅に預かり、母親のように養ったことがきっかけとされています。その後、非行のある子どもたちに母性と慈しみをもって救おうと、全国各地団体が形成され、更生保護女性会は六十年以上にわたり活動を続けています。



## 平成二十八年度事業計画

- 4月22日 市更生保護女性会 (総会資料作成)
- 22日 保護司会総会
- 24日 県更生保護女性連盟理事会
- 30日 市更生保護女性会総会
- 5月4日 富山養得園給食活動(新湊)
- 22日 市中学生生活体験発表大会
- 27日 第55回 県更生保護女性連盟総会
- 6月2日 市更生保護女性会理事会
- 8日 富山養得園給食活動(小杉)
- 10日 第51回 日本更生保護女性の集い
- 26~27日 中部地方更生保護女性会 代表者研究協議会
- 7月1日 射水保護司会公開講座
- 3~4日 市更生保護女性会研修の旅
- 5日 県中学生生活体験発表大会
- 13日 更生保護フェア in 中新川
- 21日 第63回社会を明るくする運動 海王丸パーク街宣活動
- 27日 富山養得園給食活動 (大島・下)
- 9月中旬 県更生保護女性連盟理事会
- 10月1日 共同募金協力活動
- 8日 第9回射水市社会福祉大会
- 11月11日 富山県更生保護顕彰式
- 下旬 県更生保護女性連盟会員研修

### 富山養得園給食活動に はじめて参加して

連休中日の五月四日、新湊地区の給食活動当番日に出させて頂いた。全くはじめてのこと、どんな活動なのかしらと事前の会合にでた。家庭料理を味わって頂くことで、社会復帰の一助となることを願っての活動だと知った。

二十代から六十代までの男性の方々がご満足頂ける考えることから始めた。和食の一汁三菜を基本に、季節感、ボリューム、色取りも考慮し、意見を交わした。そこは主婦、経済性も加味しつつ、より多くの食材を取り入れ、栄養的にも満足できるものを検討。一緒に、参加できない補いに、時間のかかる筍の煮物や煮豆の準備の申し出もあり、豊富なメニューとなった。材料買出し、肉屋さんへの注文、引き取りの役割、調理場所、開始時間など、和気藹々のうちに決まっていた。

当日、善光寺公民館の調理室をお借りして、家庭での料理の工夫も披露しながら、賑やかに調理を進めた。こうして準備したものを整えて、一台の車に乗り込み、道中も素敵なコミュニケーションの場としながら向かった。

園では施設長の和やかなお出迎えを頂いた上、荷物運びにまでお手をお貸し下さった。有難うございました。心温く感じながら、調理室をお借りして炊飯のしつらえ、お味噌汁の準備、煮物、メインディッシュ、付け合せ、箸止め、香の物などの盛り付けに日頃の



手際の良さを発揮。配膳盆には、拙いながらも季節を感じさせる豊かな料理が並んだと思えた。

最後に、食材の調達や、水の調理状況の衛生管理点検表に従ってチェックがあった。食べ物を扱う活動、大事なことだと感じ入った。

事前の集まりから食事として調べていく過程で、食べて頂く園生の方々に寄せる心が生まれてくるように感じられた。まさに活動が心を柔らかく耕してくれるということでしょうか。

施設長が料理を前に写真を撮ってくださった。『どうぞ、おいしく食べて頂けますように、お心に元気が湧きますように』と願った。また、施設におられた園生の方からのお礼の言葉も頂き、爽やかな気持ちで若葉の季節を感じながら帰途についた。

### 宮城県被災地復興支援の 視察に参加して

梅雨の最中とは言え、七月三日よりの一泊三日で六十八名が元気に被災地を訪ねました。

現地に近づくにつれ、密集した住宅地だった所が壊滅的な被害を受け、残っているのは家の基礎と雑草だけでした。

特に、港町として栄えた閑上(ひらかみ)では、多くの命が奪われ、海岸から一キロメートル以内の木造住宅のほぼ全てが流出してしまいました。かつては約五千人の人口があったところに今はほとんど住んでいません。更地になってしまった閑上の真ん中に設置された「閑上の記憶」の館では、震災前と震災後の様子をスクリーンにて見せて頂きました。

自分たちが確かにそこに生きてきた「記憶」、津波によって多くのものを失った「記憶」、自分の記憶や感情に向き合い、その人にとって大切な「記憶」を整理するための場所としての「閑上」の記憶」という名称にした、ということでした。

地元住民の方による「あの日の語り」では、語り部さんご本人の母親との別れを生々しく話され、自分の心の整理をする場であると共に、命の尊さ、津波の恐ろしさを学ぶ貴重な体験だったと語っておられました。

二日目は世界文化遺産登録平泉「中尊寺」へと向かいました。天台宗大本

山「円仁」の開山、国宝の「金色堂」は藤原清衡の創建で、堂全体を金箔で覆い、内陣は螺鈿細工、蒔絵など平安仏教美術の最高峰をなしていました。松尾芭蕉が「奥の細道」で迎撃した寺でもありました。

続いて「毛越寺」へ。芭蕉が悲運の源義経公主従をしのび、「夏草や兵どもが夢の跡」と呼んだ句碑がたっていました。曲水の宴や花の寺として、その風情を楽しむことができます。

すべての行程を終えて、自分たちの住んでいるところの良さ、幸せを感じながら二度と大きな災害が生じないよう祈りつつ、「笑顔が咲くたび 伊達の旅」と描かれたキャラクターのむすび丸の旗に見送られて帰途に着きました。(M記)



▲ 閑上中学校前で記念撮影

射水市更生保護女性会だより (こ)まで



◆ 部会だより ◆

◇総務部会

四月一日・五月十三日・六月二十七日、理事会を開催しました。今年度の行事・運営方法の確認や、各部会の活動予定、行事における各部会の役割分担の確認等を行いました。

◇研修部会

5月27日 定例研修会（刑の一部執行猶予制度の概要について） 自主研修会  
6月22日 介護保険制度の概要について（射水市役所 三島長寿介護課係長・坂木主任）

7月1日

検察官の役割と更生保護について（富山検察庁高岡支部 松井副検事）

以上三研修事業は、皆様方の御陰をもちまして大きな成果を上げておりますことに感謝申し上げます。更生保護制度改革が急速な変化の節目を迎えております。

私達はしっかりと情報を把握し、地域の皆様と共有しながら活動を進めねばなりません。皆さんの御意見にしっかりと耳を傾けて研修事業を進めて行きます。

今後とも御指導をお願い申し上げます。

今後の研修予定は次の通りです。

8月26日 定例研修会（生活環境調整の報告書について） 自主研修会

9月21日 第二回地域処遇会議（射水市の雇用支援策について）

11月18日・19日 県外視察研修（兵庫県播磨社会復帰センター）

12月2日 定例研修会（生活環境調整について） 自主研修会

2月4日・5日 定例研修会・自主研修会

◇学校部会

○5月22日 第三十三回射水市中学生生活体験発表大会が県大会の予選を兼ねて小杉南中学校で開催。小杉南中学校の全生徒が聴く中で市内六中学校の代表が発表しました。

射水市代表には、演題「母からの贈り物」を発表した小杉南中学校二年御後愛良さんが選出されました。

○7月5日 第五十二回富山県中学生生活体験発表大会がポルファートとやまで開催。県内各地区代表の十七名が発表。

射水市代表の御後愛良さんが見事に富山保護観察所長賞に輝きました。

★中学生生活体験発表大会は「社会を明るくする運動」の一環として

て実施しています。この発表大会が、次世代を担う中学生の非行や犯罪に陥らない「心の育成」に結びつくことを願っています。

市内中学校を始め関係各位には、生活体験発表大会にご理解とご協力を頂き、心より感謝申し上げます。

◇広報部会

◎8月末日 広報17号発行  
ホームページ (hogosi.com)、ツイッター (@rinizuhogoshikai) でも行事予定や、活動報告、省庁の情報等を発信しています。

◇地域活動部会

七月二十一日、海王丸パークでの「社会を明るくする運動」街宣活動にご協力ありがとうございました。

今年には歌手の五島つばきさんが現場に参加され、協力して戴きました。海王丸の総帆展帆や巡視船「やひこ」の一般公開があり、多くの方に「犯罪や非行の防止と地域社会の支え」を理解して戴ける良い機会になりました。

九月より、薬物乱用防止教室（十四校）が始まります。最近、危険ドラッグ絡みの交通事故が続いています。その根底に何があるのか、国内の利用者は若者を中心に四十万人ともいわれています。子供

達にその危険性を教えていきます。多くの皆さんの参加をお願いします。

◇協力組織部会

5月23日 射水地区更生保護協働雇用主会総会  
6月23日 協力組織部会協議会「高志会館」  
7月22日 射水市更生保護事業協会総会  
8月7日 富山県就労支援推進協議会



◇射水保護司会事務局日誌◇

平成26年

4月1日 第一回理事會

薬物乱用防止教室 開催  
協議會

9日 平成26年度射水保護司  
會定期總會

22日 平成26年度射水市更生  
保護女性會定期總會

30日 第二回理事會

5月13日 第33回中学生生活体験発表  
大會

22日 射水地区更生保護協力  
雇用主會總會

26日 中部更生保護台田憲生委員長  
サポートセンター視察

23日 第一期地域別定例研修會  
及び自主研修

27日 第63回「社会を明るくする  
運動」射水市推進會議

21日 薬物乱用防止  
ヤング街頭キャンペーン

6月12日 第一回地域処遇會議  
第三回理事會

27日 射水地区更生保護協力  
雇用主會總會

22日 法務大臣・  
知事メッセージ伝達式

7月1日 公開研修會  
青少年育成市民會議總會

4日 県中学生生活体験発表大會  
富山県更生保護フェア  
in 中新川(立山町民會館)

21日 「第64回社会を明るくする  
運動」街頭宣伝活動

「ひまわりの譜」記念ミニ  
リサイタル

22日 射水市更生保護協力會  
定期總會(大門綜合會館)

8月4日 薬物乱用防止指導員  
高岡地区協議會總會

11・12日 第64回「社会を明るくする運動」  
射水市作品コンテスト審査會

26日 第二期地域別定例研修  
會及び自主研修

9月12日 薬物乱用防止教室  
(金山小学校。以降市内各  
小学校で順次開催)

21日 第二回地域処遇會議  
「社会を明るくする運動」  
市作品コンテスト表彰式

11月18・19日 県外先進地域視察研修  
會

平成27年  
2月4日 定例研修會・自主研修會

◇保護司の異動・退任◇

保護司の異動(敬称略)

新任保護司(平成26年5月25日付)

奥田敏雄(七美)  
五十嵐枝折(太閤山)  
表隆夫(大門)

退任保護司(平成26年5月25日付)

高松徹(七美)  
海内貞行(太閤山)

射水市更生保護協力會  
定期總會開催

七月二十二日射水市更生保護協力會  
の平成二十六年定期總會が射水市大  
門綜合會館で開催されました。

射水市更生保護協力會長の夏野元志  
市長の開会の言葉、奈田安弘射水市議  
會議長、続いて富山保護観察所長のあ  
いさつ(山田立人主任官代読)があり  
ました。

来賓紹介の後、夏野元志會長を議長  
に選出し、平成二十五年事業報告並  
びに一般会計報告、監  
査報告、役員の改正、  
平成二十六年事業計  
画(案)及び一般会計  
収支予算書(案)につ  
いて審議し、すべてが  
承認されました。



人はみな、  
生かされて  
生きてゆく。  
更生保護ネットワーク



ひまわりの譜について

「ひまわりの譜」は、平成十三年  
七月一日「第五十一回社会を明る  
くする運動」「新世紀富山県シンポ  
ジウムin新湊」の会場で保護司の  
詩に作曲家 聖川湧先生が参加者の  
心を汲み対話しながら作曲され、社  
会を明るくする運動」の応援歌とし  
て産声をあげま  
した。以来、地  
元の保護司會、  
更生保護女性會  
が折に触れ、口  
ずさみ、更生保  
護推奨歌、社明  
ソングと称する  
までに発展した  
のです。



◇編集後記◇

相次ぐ子どもの連れ去りや、危険ド  
ラッグによる犯罪が多発しています。  
善悪の区別が出来ず、やっつけいけない  
ことをなぜ?とあります。成育歴や環境  
等複合的な要因なのではしょうか...

旧新湊市で生まれた「ひまわりの譜」  
は、聖川湧氏の作曲で、五島つばきさ  
んにより、全国で歌われています。

七月二十一日、海王丸パークでの社  
明広報活動を行った後、五島つばきさ  
んのリサイタルがありました。伸びや  
かな歌声に感動!!活躍を祈ります。

射水市が誕生して十年目を迎え、今  
後益々の発展と、犯罪のない明るい社  
会となるよう期待しています。